

大崎上島町 社協だより

No.153

2016(平成28)年1月発行

〒725-0401 広島県豊田郡大崎上島町木江5-9
社会福祉法人 大崎上島町社会福祉協議会(TEL 0846-62-1718)
ホームページ <http://www.syakyo.net/>



赤い羽根共同募金活動に ご協力ありがとうございました。

昨年10月1日から12月31日にかけて、世帯募金や個人募金をはじめ、企業や商店、保育園、幼稚園、小中高等学校等のみなさまから募金をいただきました。

いただいた募金は、お年寄りや子供たち、障がい者の幸せのため、また、じぶんの町をよくする活動にも使われています。



- ・募金の募集活動に協力いただいたみなさまに
～ 心より お礼を申し上げます。～
- ・募金額は次号にてお知らせします。



「年頭のあいさつ」

社会福祉法人 大崎上島町社会福祉協議会
会 長 小 林 弘 晃

あけましておめでとうございます
皆様おそろいで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

毎年、多くの中学生・高校生が体験型修学旅行で大崎上島を訪れています。これは、生徒の感想文の一部です。

- ・ 「島の暮らしで大切にしているものは何か」という質問に「周りとのつながり」、「遠くの身内も大事だけど近くの他人も大事」と答えてくださいました。私はその通りだなと思いました。大崎上島ではみなさんが家族のように繋がっていて、あたたかく思いやりのある方ばかりだったからです。私たちもそのように助け合っていけたらいいなと思いました。
- ・ 大崎上島で気づいたことがあります。それは大崎上島の人々は、町で出会ったひとりひとりとあいさつなどコミュニケーションを多くとっているということです。島の人たちは全員知り合いなのかなと思ったくらいです。

3日間の滞在でしたが、大崎上島町のありようをこのように表現してくれました。

大崎上島町では高齢化が進み、生活困窮や社会的孤立・特殊詐欺等の犯罪被害などさまざまな生活課題を抱え、支援を必要としている人々がいます。

このような中、「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができる地域づくり（地域包括ケアシステムの構築）」が推進されており、町の皆さんもその輪の中に入っていて「身近な人々を支える地域社会づくり」が実践されています。

地域社会のつながりはコミュニケーションによって生まれます。修学旅行生が受け止めたように、大崎上島の人々には「支え合い」をベースにした地域コミュニティの文化があり、そこには濃厚な「連帯感」も存在しています。

このような地域文化があり、地域づくりの取り組みが町の皆さんの支援をいただきながら継続されていくなれば、高齢になっても、生活課題を持っていても安心して暮らせる町になります。

これからも、この町に住んでいる人々が、地域福祉について自分に何ができるかを問いかけながら、お互いが協力し合える地域社会づくりが推進されればと願っています。

大崎上島町社会福祉協議会役職員一同、地域福祉の担い手としての役割を十分に認識し努力してまいります。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

お互いさまの『かみじまネット』



かみじまネットのギモンに答えます



Q1. 利用できるのは？

A. 町内のお年寄りから若い世代まで幅広く利用できます

Q2. どんなことでも頼めるの？

A. 協力員の方ができる範囲に限られますが、いろいろな
お困りごとに対応しています

<例えば…>

手の届かないところの掃除、ゴミの分別、重たい物の移動、
布団干し、病院内の付き添い、…等々色々なことができます

Q3. 利用料は？

A. 1時間300円いただいております

Q4. かみじまネットは何のための活動なの？

A. 利用者の生活の困りごと解決はもちろん、活動を通じて
地域の『ごきんじょ互近助』の力を高めることを目的としています

大崎上島町社会福祉協議会イメージキャラクター



オーちゃん

ケイくん

まずはご相談ください！お気軽にどうぞ♪

大崎上島町社会福祉協議会

電話 **62-1718** (担当：波多野) まで

この事業は赤い羽根共同募金の配分金で実施しています。



和気あいあいとやっています 生きがいデイサービス

生きがいデイサービスは東野保健福祉センターで、毎週 火・水・木曜日に『いつまでも住み慣れた自宅で自立した生活を過ごせるように』を目標に行っています。

この日はクリスマス会。歌をうたったり、ゲームをしたり、おやつの中にはケーキも食べ、みんなと楽しい時間を過ごすことができました。



リンゴの皮むきゲームに挑戦！



家じゃなかなかできないけれど…



自分たちでできることはやりますよ～



みんなと食べるとおいしいよ！



《利用者の声》

体調を崩し、家に閉じこもりがちになっていたとき、知人に誘われたのがきっかけで『生きがいデイサービス』を利用するようになりました。

家ではなかなかできない、体と頭を使った体操やゲームを行ったり、なにより、みんなと会ってお話することがとても楽しいです。毎週、このデイの日が待ち遠しいです。

他の方にもぜひ利用を勧めていきたいと思います。

(大崎 樽本友江さん)

《 スケジュール (一日の流れ) 》

- 9:00～ お迎え
- 9:40～ くつろぎコーヒータイム
- 10:00～ 健康チェック (検温・血圧・脈拍)
聞き取り及び生活相談
- 10:30～ 体操 (介護予防運動・口腔)
- 11:00～ 休憩 (水分補給)
脳トレ・歌・ゲームなど
- 12:00～ 昼食
- 13:15～ ゲーム・作品づくりなど
水分補給
- 14:00～ お送り

お問い合わせ

大崎上島町社会福祉協議会 本所

☎ (0846) 62-1718

認知症をよく理解するための9大法則・1原則(その2)

平成27年10月14日に、宗近病院副看護部長の八木喜代子さんから聞いたお話(9大法則の1と2)を11月の社協だよりでお伝えしましたので、今月は9大法則の3、4、5についてお伝えします。



第3法則:自己有利の法則

自分にとって不利なことは一切認めないで、認知症があるとは思えないほど、素早く言い返してくることを言います。

実は、人は誰でも、自分の能力低下や生存に必要な物の喪失を認めようとしにくい傾向を持っているそうです。

認知症になった人の言動には、自己保存のメカニズムが本能的に働いているようです。

第4法則:まだら症状の法則

正常な部分と認知症として理解すべき部分が混在します。それは初期から末期まで見られるそうです。

第5法則:感情残像の法則

記憶障害はあるが、感情は残像のように残ります。

理性的な対応よりも、感情が穏やかになるかわりをするのが大切です。つまり、「褒める」「感謝する」「相槌を打つ」「共感する」「謝る」「**事実でなくても認める**」上手に演技をすることが大切です。

たとえば、息子さんに怒られたとき、どういうことで怒られたかは忘れてしまっても、怒られたときに感じた嫌な感情と一緒に怒られたことが記憶に残ります。これが何回かあると「嫌なことをいう人」となり、良いアドバイスにも抵抗することが起こったりします。しかし、良い感情も残りますので、認めてもらえたり褒めてもらえると、「この人がいると安心だ。」「この人は良い人だ。」と思うそうです。

《相談窓口・問い合わせ》



大崎上島町地域包括支援センター(担当: 藤原 小松 田原)

大崎上島町木江5-9(木江保健福祉センター内) ☎67-0022

ご寄付ありがとうございました

お寄せいただいたご寄付は、福祉のまちづくり推進のため、有効に活用させていただきます。

【平成27年12月11日～平成28年1月6日お申し出分】

【香典返し】

- ・木江 森川 完治 様 (故父 哲利 様)
- ・明石 西浦 昭彦 様 (故母 サカエ様)
- ・中野 大成 武彦 様 (故父 武 様)
- ・木江 大町 竜二 様 (故母 恵美子様)
- ・原田 天根 錦丈 様 (故母 則子 様)
- ・東野 藤原 公康 様 (故妻 由美子様)
- ・木江 金山 謙二 様 (故父 周蔵 様)
- ・中野 岩崎 太郎 様 (故父 昭弘 様)
- ・大串 野口誠一郎 様 (故父 照道 様)

【香典返し】

- ・原田 松岡加代子 様 (故夫 光志 様)
- ・大串 角本 博 様 (故父 勝 様)
- ・東野 菅 清幸 様 (故父 清春 様)

【一般寄付】

- ・中野 川本 明治 様
- ・中野 檜山 善茂 様
- ・中野 向井 直行 様 (福祉用具借用のお礼)
- ・匿名 (2名様)



おしらせ

“家族会”は知恵の宝庫

介護者家族会

～2月定例会のご案内～



日時 平成28年2月12日(金)
午前10時～11時30分

場所 大崎老人福祉センター
1階「すまいる一む」

内容 「介護者の心のケア」

対象者 在宅で介護をされている方

認知症の人と家族の会

～2月定例会のご案内～

日時 平成28年2月26日(金)
午前9時30分～11時30分

場所 大崎上島開発総合センター
研修室1

内容 「認知症の人と接するときの心がまえ」

対象者 認知症状がある方、在宅で介護をされている方

ふくし相談会 & 暮らしの相談会



日時 平成28年2月2日(火)
午後1時30分～2時30分(受付)

場所 東野保健福祉センター

内容 介護保険の利用・内容や生活費など福祉に関係する相談

対象者 大崎上島町にお住まいの方